



「探究マスタールーブリックを基軸とした資質・能力の可視化と探究の体系化による科学的探究力の育成」

【I期・基礎枠】
R8年度～12年度

生田高校における研究開発の概要

開発した「探究マスタールーブリック」を基軸に、生徒の資質・能力を可視化し、探究の学習プロセスにおいて生徒が自らの成長を実感できる学びの仕組みを構築することで、理数探究の学びを体系化し、科学的探究力を形成する9つの資質・能力の育成を図ります。



取組

テーマⅠ：探究マスタールーブリックを基軸とした資質・能力の可視化と理数探究の学びの体系化

① 理数探究基礎・理数探究を通して育成する資質・能力と成長の状況の可視化

探究マスタールーブリックを基軸に、科学的探究力(9つの資質・能力)の成長を可視化し、理数探究基礎～理数探究の連続した学習体系を構築します。

② 理数探究基礎・理数探究のカリキュラムと評価指標の開発

- 【1学年】理数探究基礎の充実（2単位）
- 【2学年】理数探究の充実（2単位）
- 【3学年】理数探究の充実（1単位）

テーマⅡ：全校的な探究推進体制の構築と評価システムの整備

① 全校的な研究開発推進組織の設置

全校的な研究開発を統括する組織として、各教科の代表教員が参画する「SSH・S/Teamプロジェクト推進委員会」を設置します。

② コンピテンシー・ベースによる組織的な授業力の向上

教員研修会、研究授業、授業互見、教科会議での協議等を通して、資質・能力をベースとした授業力向上に係る組織的な取組を通年で実施します。

③ 「ショーケース」による資質・能力の成長や課題等の可視化

生徒が自らの探究のプロセスを振り返り、資質・能力の成長や強み、課題などを言語化し、その活用を通して次の挑戦へと向かう学びの再設計を確立します。

④ 高校版IRシステムの開発

生徒のアンケート調査、進路状況調査、学習評価など直接評価から間接評価にわたる多様なデータを統合し、分析・可視化するシステムを開発し、エビデンスに基づく教育の質向上を図ります。

⑤ 探究のDX化

DXハイスクール事業で整備したラーニング・コモンズやハイスペックパソコン、3Dプリンターなどを理数探究の課題研究や各教科の探究的な学習に活用し、生徒が科学的分析力・情報活用力・科学的思考力・知的探究力を発揮できるよう支援します。

テーマⅢ：大学・企業・行政・海外姉妹校等との連携による探究の深化

- ① 明治大学との高大連携プログラムの実施
- ② S/Teamプログラムの実施
- ③ 近隣SSH指定校、海外姉妹校との研究交流の推進
- ④ 学校設定科目「自然科学探究」の開講
- ⑤ 科学部等の活動、科学コンテストへの参加